

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）  
 平成 31 年度採択テーマ  
 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合 評価
九州における地下水が関与した大規模崩壊の警戒 対応 (研究期間：H31 年度～R3 年度)	鹿児島大学 教授 地頭菌隆	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>九州では、火砕流台地周縁やカルデラ壁などの火山性地質の地域において、地下水が関与した大規模な崩壊（地下水型崩壊）が発生している。本研究は、地下水型崩壊を対象にして、(1)渓流水の流量や電気伝導度を測定して地下水集中箇所を抽出し、崩壊発生危険箇所を絞り込む調査法を確立すること、(2)抽出した地下水集中箇所において、湧水流量の監視に基づいた崩壊発生の警戒対応策を開発することである。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究では、地形的流域界を越えて地下水が流域に流入している可能性のある溪流を、比流量と電気伝導度（EC）を用いて抽出した上で、当該流域における湧水量調査を行い、複数の調査地において崩壊の危険性の高い斜面を推定する手法の有効性を実証した。湧水流量の監視に基づいた崩壊発生の警戒避難対応策を併せて開発しており、地下水型崩壊の危険個所の抽出および警戒避難体制の構築に大きく貢献するものと期待される。</p> <p>今後は、九州地域以外の火山性地質地域における検討、および火山性地質域以外への検討を広く展開して頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い